

卓 話

平成 23 年 10 月 18 日

『新入会員卓話』

岐阜中ロータリークラブ
田中 稔会員

私が保険の仕事をさせていただくようになりまして、約 3 年になりますが、お客様から「こんな病気になったんだけど、どこか良い病院や先生はいないかな？」という質問を受ける時があります。

これまでは私自身の知識や、知り合いのお医者様からの情報を基にしてお話しておりましたが、果たしてその内容がお客様にとって本当に役に立つ情報



なのか、ということに正直疑問符が付くような状況でした。インターネットでも情報は仕入れることはできますが、数が多すぎて逆に迷ってしまいます。例えば、「乳がん」と検索すると 546 万件もの数があります。そんな中で注目されている会社で「ティーペック株式会社 (T-PEC)」というところがあります。質の高い情報提供をしてくれる組織で、情報提供だけでなく実際に名医による治療を受けられるよう手助けしてくれる会社です。

日本の医療制度は、誰もが必要なときに必要な医療を受けられる特徴があります。が一方で、医師や病院の偏在による地域による格差、治療実績や設備による医療機関による格差、専門的な技術・知識の優劣による医師による格差、などが発生しています。もちろん、医師の方々は志の高い方ばかりですし、政府もこの格差を無くそうとしているのも事実です。

最近、テレビで見た事で興味深い内容のものがありませんでした。糖尿病の治療には、薬を飲むことで症状を改善・安定させることが多く、数値が悪いとインスリンという薬を使いますが、最近、このインスリンを初期の段階で治療に使用することで効果をあげているとの内容でした。保険会社的に言いますと、インスリンを使用されている人は状態が悪い人で、保険にも入りにくいという概念が存在していますが、医療の進歩は、その概念をも覆すことは、他にも多くあります。ただ、その情報を的確にキャッチすることは非常に難しく、それは医師も同じであるという事実を認識する必要があると思います。

よく「病は気から」という言葉を耳にされると思いますが、私は、非科学的なことではないと思っています。まだ、ロータリーに入会しまして間がない状況ですが、的確な情報と「病は気から」という言葉を胸に、これからロータリーで頑張っていきたいと思っています。今後とも宜しくお願いいたします。